

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されているユーザガイドとその他のマニュアルについては、次の URL から入手できます。http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線でサポートされるコールの追加をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話機が呼び出し中または使用中のときに別のソフトキー（[即転送] など）を表示する必要がある	新しいソフトキーテンプレートを設定してユーザの電話機に割り当てるようシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル番号が足りない	現在使用可能な短縮ダイヤル番号をすべて使用していることを確認してください。 追加の短縮ダイヤルボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファーストダイヤルサービスへの登録を検討してください。	P.101の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください。
1つの電話番号を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの番号をデスクの電話機と無線 IP Phone で使用することができます。	P.64の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィス スペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コール ピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示またはそれに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の電話機に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 不審なコールのトレース (P.69) • 共有回線の使用 (P.64) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.71)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。	P.77 の「自動応答の使用」 を参照してください。
電話機の短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を設定するように管理者に依頼します。	P.67 の「BLF の使用による回線状態の確認」 を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者にお問い合わせください。	P.71 の「Cisco エクステンション モビリティの使用」 を参照してください。
同じ共有回線を持つすべての電話機で、共有回線でのコール情報の表示やコールの参加を許可または禁止する	電話機のプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.66 の「他者による共有回線のコールの表示および参加の防止」 を参照してください。